

AVANTIA×日本エコシステム presents
第48回愛知県スポーツ少年団剣道交流大会実施要項

1. 趣 旨

団員にスポーツの歓びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。

2. 期 日

2025年12月7日（日）

3. 会 場

アデリア総合体育文化センター
〒482-0035 愛知県岩倉市鈴井町下新田 123

4. 主 催

公益財団法人愛知県スポーツ協会愛知県スポーツ少年団
一般財団法人愛知県剣道連盟

5. 主 管

愛知県スポーツ少年団剣道専門部会

6. 後 援

愛知県
中日新聞社

7. 協 賛

株式会社 AVANTIA、日本エコシステム株式会社、株式会社アルペン

8. 参加資格

(1) 団 員

下記の条件を満たす者で、所属市町村スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- ①令和7(2025)年度スポーツ少年団登録をしている者。
- ②大会日程に耐えられる健康な心身の持ち主で、大会参加に支障がない者。
- ③保護者に大会参加の承諾を得た者。

(2) 指導者（監督、コーチ）

- ①令和7(2025)年度日本スポーツ少年団に指導者登録をしている者。
- ②集団指導の能力に優れ、市町村スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- ③スポーツ少年団の理念を学んだ者（※）

※スポーツ少年団の理念を学んだ者

- 令和元(2019)年度スポーツ少年団認定育成員・認定員登録者
- JSPO 公認スタートコーチ(ジュニア・ユース)資格保有者
- 前年度 JSPO 公認スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会修了者
- 令和元(2019)年度以前にシニア・リーダーとして資格認定され、令和5(2023)年度まで引き続き登録を行っていた者
- 令和2(2020)年度以降にシニア・リーダーとして資格認定され、引き続き登録を行っている者

9. 参加者及びチーム編成

- (1) 参加者は、団体試合出場チームと個人試合出場者とする。ただし、単位スポーツ少年団からは、団体試合または個人試合どちらか一方の参加でも認める。
- (2) 指導者は団体試合1名（監督）、個人試合1名（コーチ）とし、令和7（2025）年度日本スポーツ少年団登録をしている指導者であること。なお、監督・コーチは兼任することができる。
- (3) 団体試合出場チームは、同一単位団で選抜したチーム（団員5名、監督1名）であること。
- (4) チーム編成は、下記の通りとする。

| 区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 監督 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 先鋒 | 次鋒 | 中堅 | 副将 | 大将 | |
| 学年 | 4年生 | 5・6年生 | 5・6年生 | 5・6年生 | 5・6年生 | 有資格指導者 |
| 性別 | 男又は女 | 女 | 男 | 女 | 男 | 男又は女 |

※ 上表の学年は当該年度の4月1日現在のものとする。なお、該当者のいない場合は、学年の下の者が上位の学年区分に出場してもよいが、小学校4年生以上とする。ただし、男女の変更は認めない。

- (5) 個人試合出場者は、下記の5種別とし、参加申込は各種別1単位団につき2名以内とする。
- ①：男女小学3年以下の部、②：男子中学生の部、③：女子中学生の部、④：男子高校生の部、
⑤：女子高校生の部

10. 試合方法

(1) 団体試合

トーナメント方式

- ① 試合は3本勝負、時間は2分間とし、時間内に勝敗が決まらない場合は引き分けとする。
② 勝者数、取得本数同数の場合は代表者戦を行う。
③ 代表者戦

中堅・副将・大将の中から監督が指名した選手による1本勝負、時間は2分間とし、時間内に勝敗が決まらない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。延長戦は2分間ずつ区切って勝敗の決するまで行う。

(2) 個人試合

トーナメント方式

- ① 試合は3本勝負、時間は2分間とし、時間内に勝敗が決まらない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。延長戦は2分間ずつ区切って勝敗の決するまで行う。
② 構えは中段の構えのみとする。（高校生は除く）
③ 突き技及び片手技は有効としない。（高校生は除く）

11. 組合せ抽選

- (1) 団体試合は、当日抽選を行う。
(2) 個人試合は、大会主催者の責任において行う。

12. 試合と審判規則

「全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則」による。

ただし、別に示す令和7年度「愛知県スポーツ少年団剣道試合申合せ事項」はこれを適用する。

13. 参加申込

市町村スポーツ少年団は、所定の参加申込書により本部長名をもって申し込むこと。

また、参加申込書は2025年10月3日（金）までにデータにて提出すること

「申込先」 E-mail:kosaka@aichi-sports.or.jp

※単位団からの直接の申し込みは不可とし、受理しない。

(1) 申込後の団員の変更は、特別な事情がある場合に限り認める。但し、10月31日（金）の正午までとし、団員の追加は認めない。

(2) 申込後の指導者（監督・コーチ）の変更は、特別な事情がある場合に限り認める。ただし、申込時に予備指導者として申込した者に限る。また、変更の際は、大会当日受付時に変更届を提出すること。（変更届用紙は後日参加団代表者あて送付する。）

14. 個人情報の取扱について

大会参加申し込みにかかる主催者・主管団体が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取り扱うものとする。取得した個人情報については、大会の参加資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・大会時のアナウンス・大会結果掲載にかかる（表彰・掲示板・ホームページ・大会 記録集・報道関係への提供等）、その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等にのみ使用する。

15. 表彰

(1) 優勝チームには、賞状、賞品（メダル）を授与する。

(2) 準優勝（1チーム）、第3位（2チーム）には、賞状、賞品（メダル）を授与する。

(3) 参加者全員に参加賞を授与する。

16. 参加料

(1) 団体試合1チームにつき3,300円（税込）、個人試合1名につき550円（税込）。選手変更期限締め切り後（10月31日（金））以降に市町村スポーツ少年団に対して請求書をメールにて送付する。市町村スポーツ少年団が参加料取りまとめの上、一括して銀行振込にて納入すること。

※参加料納入後の返金は行わない。

※単位団からの直接の納入は不可とし、受理しない。

17. その他

(1) 団員は、団員章を剣道着着用時、左肩から7cmの位置に着けること。

(2) 指導者（監督・コーチ）は、指導者章と会場入場証リボンを着けること。指導者章は左上腕部の見えやすい位置に、会場入場証リボンは左胸の見えやすい位置に着けること。

(3) 指導者（監督・コーチ）は、開・閉会式及び試合中は、剣道着・袴とする。

(4) 大会関係者及び指導者（監督・コーチ）以外のフロアへの入場は禁止する。

(5) 指導者は、参加者を単位団毎に引率し、午前10時00分までに会場に集合し受付を済ませること。
※集合時間は変更となる可能性があります。変更が生じた場合は、事前にご案内いたします。

(6) 試合の終了した選手、指導者及び観客は速やかに退館すること。

(7) 大会オーダー表は本会事務局で作成する。

(8) 主催者は、競技中の疾病及び傷害については、応急処置はするがその後の責任は負わない。なお、参加者はスポーツ安全保険等に加入すること。

(9) 参加する際のマスクの着用は各自の判断とする。

- (10) 参加者の個人情報（所属地区名、漢字氏名、カナ氏名、年齢、住所、電話番号等）は当該大会運営のために利用する。
- (11) 一般観客及び選手による大会模様の撮影は自由とするが、撮影したデータの商用的利用及びSNS等への投稿は禁止とする。
- (12) エンジョイ！剣道フェスティバル2026の派遣について
- ① 団体戦および、個人戦「男子中学生の部」「女子中学生の部」の成績優秀者の中から、下記のとおり選出し、愛知県代表チームを編成する。
- <団体戦> 1チーム（団員5名、監督1名）
- <個人戦> 中学生男子（1名）、中学生女子（1名）
- ② 派遣期日及び派遣先
- 期　日：2026年3月27日（金）～29日（日）
- 会　場：富山県総合体育センター
〒939-8252 富山県富山市秋ヶ島183
- ③ 参加料および旅費
- 参加料が発生する場合は参加者負担。
- 旅費について、団員は片道分、引率指導者（監督）は往復分を愛知県スポーツ少年団が助成する。
- ④ 派遣者は愛知県スポーツ少年団で決定し、該当市町村スポーツ少年団宛に通知する。

18. 問合せ先 愛知県スポーツ少年団事務局

〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目49番10号 愛知県教育会館内
公益財団法人愛知県スポーツ協会 愛知県スポーツ少年団
TEL 052-264-1010 FAX 052-264-0909

愛知県スポーツ少年団剣道試合申合せ事項

1 試合場の注意事項について

(1) 竹刀の規格は次のとおり規定する。

| 項目 | 性別 | 高校生 | 中学生 | 小学生 |
|-------|------|----------|----------|----------|
| 長さ | 男女共通 | 117cm 以下 | 114cm 以下 | 111cm 以下 |
| 重さ | 男子 | 480g 以上 | 440g 以上 | 特に指定しない |
| | 女子 | 420g 以上 | 400g 以上 | |
| 先革の太さ | 男子 | 26mm 以上 | 25mm 以上 | 特に指定しない |
| | 女子 | 25mm 以上 | 24mm 以上 | |

(2) 竹刀の点検は十分にしておくこと。中結の位置は剣先から全長の約 1/4 とする。

また、事故防止のため、ビニールやセロハンテープを巻いた竹刀の使用を禁止する。

(3) ポリカーボネード面の使用は認めることとする。

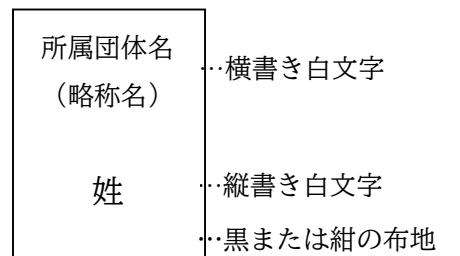
(4) 試合者の名札(垂部)の所属団体名は略称名とする。

①試合者の名札は、図のとおりとし中央の垂に着ける。

②所属団体名は、申込書に記入した略称名とする。

③所属団体名(略称名)以外の名称または所属団体名

をはりつけたもの、縫いつけたものは、右の図以外無効とし、失格とする。



(5) 面紐の長さは結び目から約 40cm 以内に切っておくこと。小手紐は長くたれないよう結び、胴紐(腰紐)の結び方は花(蝶)結びとすること。

(6) サポーター等の使用届は行わない。選手にとって医療上必要であり、見苦しくないものであること。また、相手に危害を加えると審判が判断した場合、その使用を禁止することもある。

(7) 鐲は、所定の位置に固定すること。

(8) 試合者は必ず面マスクまたはシールドを着用すること。

剣道試合・審判規則第1条「公明正大に試合をし」に反する行為は反則です。

2 試合等の運営について

(1) 団体試合の整列は、試合ごとに行い審判側が先鋒となって並ぶ。なお、先鋒・次鋒は剣道具を着け、竹刀を持って立礼の位置(開始線の手前3歩)に整列すること。

(2) 正面の礼は、第一試合の開始時及び決勝戦の開始時と終了時に行う。

(3) 女子も男子と同じ(蹲踞)で行う。

(4) 審判員の合議の場合は、試合者は開始線で立ったまま納刀し、境界線の内側まで後退し、蹲踞もしくは正座で待機する。

(5) ストップウォッチの持ち込みを禁止する。また、試合中における指導者(監督)のサイン等による指導も禁止する。

(6) 参加者及び指導者は、試合者への声援をしてはならない。応援は拍手のみとする。

(7) 観覧者及び応援者は試合中、指導者(監督・コーチ)及び参加者に影響を与えるような応援をしてはならない。したがって、応援は拍手のみとし、声援はしないこと。また、写真撮影のためのフラッシュを用いることは禁止する。